



どうして被害がなくなるらない?



イノシシに出会った時は…

① 近づかない

ほとんどの場合はしばらくすると自然と山に帰っていきます。犬などを連れていたり、敵と判断して攻撃しえることがあるので、十分に注意してください。



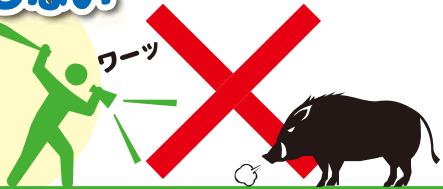
② ゆっくり後退し、静かに立ち去る

立ち去ることが難しいときは、安全な場所でイノシシが立ち去るまでやり過ごしてください。安全な場所から、音を立てるなどして、人がいることを知らせましょう。



③ 威嚇したり、驚かせたりしない

むやみに興奮させると危険です。



イノシシが物陰などにいる場合があります。

びっくりさせて突発的な事故を防ぐため、イノシシの出没のおそれがある場所では、特に夜に出歩くときは、音や光でこちらの気配を知らせるようにしましょう。



イノシシの出没情報やご相談は・・・若松区役所へ

平日 8:30~17:00

電話:761-0039

夜間・休日

電話:761-5320

若松区では被害を減らすためイノシシを捕獲しています。

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
捕獲頭数	111	83	121	94	148	139

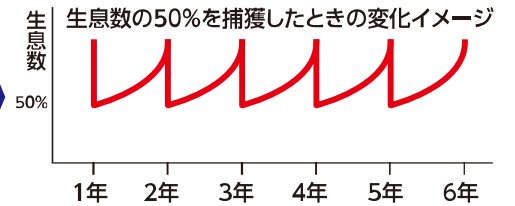
これだけ捕獲してもイノシシによる被害は無くなりません。

なぜか?

それは…イノシシがとても繁殖能力が高い動物だからです。

- 早い性成熟
- 高い妊娠率
- 多い産子数
- 基本的に年1産
- 1歳までに約50%が死亡

捕獲しても次の年には元の数に戻ってしまいます。



農林水産省「野生鳥獣被害防止マニュアル」参照

捕獲するだけでは、根本的な解決にはなりません。

だから



イノシシを近づけない工夫をし、イノシシと上手に付き合っていくことが大切です。

中面にヒントを記載しています。



イノシシを呼び寄せない環境づくりが大切です。

地域みなさんで力を合わせ、イノシシが近づきにくい環境を作りましょう!!



① 餌付けをやめよう!

イノシシが街なかに出てくる最大の目的はエサです。食べ物のない場所はイノシシにとって魅力がありません。

「故意の餌付け」だけでなく、「知らないうちに行っている餌付け」に注意

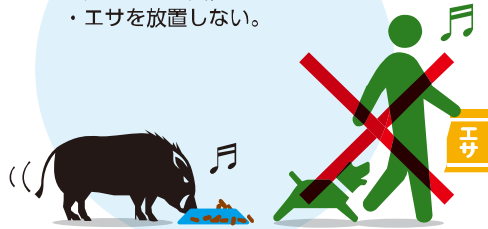
● エサを与えない

- ・人慣れしてしまい、頻繁に出没するようになる。
- ・予想もしていない動きでケガをさせられる可能性がある。



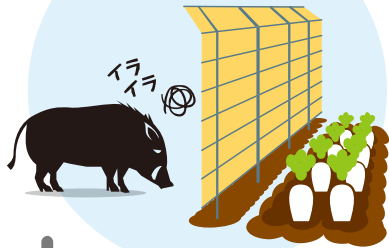
● 犬やネコのエサを正しく管理

- ・片付けまで責任をもって行う。
- ・エサを放置しない。



● 家庭菜園の管理

- ・柵などを仮設し、侵入を防ぐ。



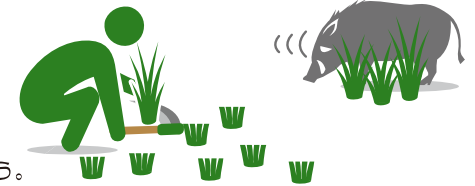
● ゴミ出しマナーの徹底

- ・袋の口をきちんと結ぶ
- ・ゴミ出しの時間を守る
- ・柵の利用や金属製のゴミ箱の利用も効果的。



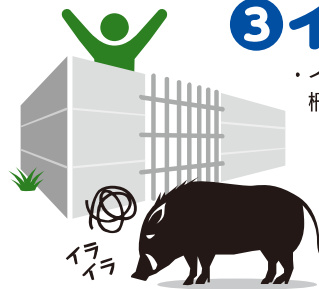
② イノシシの隠れ場所をなくそう!

・地域の皆さんで協力し、草刈りや清掃を行う。



③ イノシシの侵入を防ごう!

・イノシシの侵入路や自宅の侵入してほしくない場所に、柵やトタン、ネットなどを設置。



人間とイノシシがともに
幸せに暮らすために
「棲み分け」が必要です。

